

別添

**JOC ジュニアオリンピックカップ**  
**2025年度埼玉県ジュニア柔道体重別選手権大会**  
**兼関東ジュニア柔道体重別選手大会埼玉県予選実施要項**

- 1 日 時 令和7年5月17日(土) 午前10時30分 開会
- 2 場 所 大宮武道館  
埼玉県さいたま市見沼区堀崎町 12-36 TEL 048-687-1011
- 3 主 催 埼玉県柔道連盟

4 体重区分 次の体重区分による男女共7階級

男子	女子
60kg級	48kg級
66kg級	52kg級
73kg級	57kg級
81kg級	63kg級
90kg級	70kg級
100kg級	78kg級
100kg超級	78kg超級

5 出場資格

- (1) 選手は、日本国籍を有する者とする。
- (2) 選手は、平成17年(2005年)1月1日以降、平成22年(2010年)12月31日以前の出生者。

※ 令和7年(2025年)中に15歳から20歳になる者

- (3) 選手は、当該県に居住、在勤、在学の条件のうち、いずれかを満たし、埼玉県柔道連盟を通して(財)全日本柔道連盟に競技者登録をしている者とする。

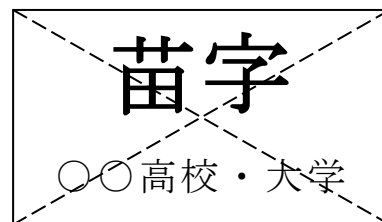
6 試合方法

- (1) 国際柔道連盟試合審判規程及び本大会申し合わせ事項により行う。
- (2) 試合時間は、4分間とする。
- (3) 判定基準は、「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。  
抑え込みの時間は、20秒で「一本」、10秒以上で「技あり」、5秒以上で「有効」とする。  
得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)で勝敗を決する。
- (4) 「指導」による罰則は、3回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
- (5) 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
- (6) 試合は、トーナメント戦で行い男女全階級敗者復活戦を行う。
- (7) 敗者復活戦は、ベスト8以上の選手が対象とする。
- (8) 参加選手が5名以下の階級は、リーグ戦とする。

## 7 服 装

- (1) 柔道衣は、白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。
- (2) 布地は、白色(晒太綾)で、サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30cm。
- (3) 苗字を上部 2/3、所属を下部 1/3 に、ゴシック又は、楷書体で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
- (4) 縫い付けの場所は後襟から 5～10cm 下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。

※ 広告の入った柔道衣及びゼッケンは使用不可



8 審判会議 会議室 午前 10 時 00 分から

9 計量時間 令和 7 年 5 月 17 日 (土) 午前 9 時 15 分から 9 時 45 分の間  
(仮計量午前 9 時 00 分から 9 時 15 分まで)

10 計量場所 男子計量会場：主道場 女子計量会場：会議室  
(計量に伴う練習会場の準備はありません。)

## 11 申込み方法及び申込み期限

- (1) 別添の申込み用紙に記入のうえ、各支部柔道連盟会長・中体連・高体連専門委員長を通して埼玉県柔道連盟会長に申込みこと。
- (2) 登録届は、学校顧問、または柔道部責任者押印し提出のこと。
- (3) 令和 7 年 4 月 18 日(金)までに必着にて申込みこと。
- (4) 申込締切後の返金を行わない。
- (5) 申込書は、県柔連ホームページより、ダウンロードの事。

## 12 選手変更

参加申込後負傷・その他においての選手変更は、令和 7 年 5 月 16 日(金)午後 1 時までには県柔連事務局へ提出のこと。(FAX 送信可)

13 参加費 1 名 3,000 円 (保険料含む)  
関東大会出場選手参加費は 1 名 3,000 円(大会終了後徴収する。)

14 表彰 各階級の優勝者から第 3 位まで(3 名)を表彰する。

## 15 関東ジュニア大会出場者

- (1) 男子 各階級 3 名
- (2) 女子 各階級 3 名

## 16 選手の推薦他について

- (1) 全日本ジュニア強化選手・全日本カデ強化選手を推薦とする。
- (2) 県内中学、高校に在学している者の参加は、中体連、高体連専門委員長に推薦された者とする。
- (3) 参加費については、下記の郵便局又は埼玉りそな銀行にてお振込み下さい。

- 郵便局 口座記号番号 00180-1-391120
- 埼玉りそな銀行 県庁支店 普通 3505526
- 口座名義 埼玉県柔道連盟

## 17 脳震盪対応

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 18 監督・コーチについて

- (1) 監督・コーチは、所属団体各3名までとする。
- (2) 監督・コーチは、全柔連指導員有資格者とする。  
(登録届に全柔連登録カード(写)を添付のこと)
- (3) 監督・コーチの服装は、全柔連審判員に準じること。

## 19 入館時間の設定

- (1) 午前8:30 競技役員
- (2) 午前8:45 選手・監督・コーチ
- (3) 午前9:00 審判員
- (4) 午前9:30 大会役員